

今日のハイブリッドワークを支えるパーソナルコラボレーション ソリューションの設計

クラウド会議を強化するモダン デスクトップデバイスへの投資

フロスト&サリバン ビジュアルホワイトペーパー

スポンサー：ロジクール

目次

- 3 ハイブリッドワークが流れを変える
- 4 新時代の働き方におけるパーソナルコラボレーションの役割
- 5 ハイブリッドワークへの移行が示すユーザーとIT部門双方の長期的変化
- 6 デスクトップコラボレーション用の機器がクラウド会議の成功を左右する
- 7 卓越したコラボレーション体験をすべての人の最優先事項に
- 8 適切なデバイスでデスクトップユーザーをサポート
- 9 クラウドサービスで認定されたデバイスに投資—より良い協力関係を実現
- 10 変わりつつあるワークプレイスと足並みを揃えてITサポートの進化を促す
- 11 ビジネス向けのパーソナルコラボレーション デバイスでGoogle Meetを強化
- 12 Google Meetとの連携が認定されたデバイスで安心感と機能性の向上をもたらす
- 13 単一のデバイスプロバイダーの認定済み製品を複数、選択肢として標準化
- 14 ソリューションのポイント-to-ロジクール パーソナルコラボレーション デバイスはGoogle Meetで認定済み
- 15 組織に最適な選択を

ハイブリッドワークが流れを変える

あらゆる規模の企業が、従業員がどこからでも働けるハイブリッドワークの導入を進めています。この大きな流れの変化によって、有能な人材へのアクセス、生産性の向上、コストの削減、従業員の選択肢の多様化、包括性の強化、ビジネス継続性の改善が促されることは間違いありません。

ビデオ会議とクラウドサービスは、未来のハイブリッドワークへの急速な転換を促し、今や、生産性とチームのつながりを強化するために、不可欠なものとなりました。ここ最近で多くの企業が確立したビデオファーストのカルチャーを維持していくためには、既存のテクノロジーへの投資を継続的に改善し、強化していくことが欠かせません。

多くの企業は、きわめて重要な、新しい課題に直面しています。チームメンバー同士が完全につながれる環境を用意して、自宅、社内、外出先など、居場所にかかわらず、すべての従業員がチームに平等に貢献できるようにする方法を模索しているのです。ノートPCには、マイク、スピーカー、ウェブカメラなど、ビデオ会議のための基本的な機能が内蔵されていますが、最適な会議の実現には不十分です。質の低い音声や映像は、会議への熱意を弱める主な要因となっています。

IT部門の意思決定者は、オンラインのチームとオフィスにいるチームのギャップを埋めるコラボレーションツールの導入を担っています。

企業のリーダーやIT部門の意思決定者が直面している主な課題



リモートワーカー向けの配慮およびテクノロジーツールの不足



57% すでにリモートワーク向けコラボレーションツールへの技術投資を推進していると回答したIT部門の意思決定者の割合



35% 今後2年間で推進する予定と回答した人の割合

今こそ、ビデオ会議への投資を次のレベルに高めるときです。企業がこれまで投資してきた高度なクラウド会議に、ビジネス向けのパーソナル コミュニケーション デバイスを組み合わせることで、ハイブリッドワーカーはさまざまな場所をシームレスに移行できるようになり、IT部門は必要とするコントロールとシンプルな管理を実現できます。

出典：フロスト&サリバン

新時代の働き方におけるパーソナルコラボレーションの役割

パーソナルワークスペースが、ハイブリッドな職場環境でコラボレーションを行う際のハブとなりました。これにより、卓越したパーソナルコラボレーション体験の構築は、生産性の向上に欠かせないものとなっています。企業は、ホームオフィス、従来のオフィスデスク、オープンオフィス、コラボレーションラウンジ、コワーキングスペース、ホットデスク環境など、あらゆるパーソナルスペースで自然かつ高品質な音声と映像の実現に対応できなくてはなりません。

パーソナルワークスペースからコラボレーションを行うには、最適なデスクトップデバイスが欠かせません。それぞれのワークスペースで働くユーザー同士が、高品質かつ妥協のない音声と映像でコミュニケーションを取る必要があるためです。テクノロジーの購買担当者が選択できるデバイスの数は増え続けています。IT部門の意思決定者は、さまざまな選択肢を慎重に評価し、自社のクラウド会議プラットフォームに最も適したソリューションを選ぶ必要があります。

クラウドサービス プロバイダーが認定したデバイスに投資することで、高度なクラウドテクノロジーへの投資価値を最大化できます。

ハイブリッドワークへの移行が示すユーザーとIT部門双方の長期的変化

ユーザーのニーズ



鮮明な映像と音声の伝達

会議室内かリモートかにかかわらず誰もが平等な立場で参加できる、包括性と関与を促す会議体験



自然なコミュニケーション

目の前にいるかのような音声と映像、コンテンツ共有により、ユーザーの快適性と信頼感を高めるデバイス



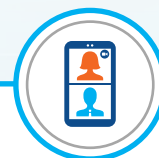
プロフェッショナルな存在感

リモート勤務中の従業員が最高に魅力的な見た目と音声を届けられるノイズキャンセレーション、バーチャル背景、微光環境に最適化されたカメラなどの機能を搭載したデバイス



容易な導入と使用

面倒な作業がなく最小限のスペースに設置でき、利用中のクラウド会議サービスと連携するシンプルなプラグ&プレイのデバイス



一貫したユーザー体験

定期的に自宅とオフィスで勤務場所を切り替えても同じ会議体験を得られるデバイス



パーソナライズ

仕事の役割や好みによる個人的要件を満たす最適なコミュニケーションデバイス

IT管理者のニーズ



標準化

調達容易で、煩雑さを解消し、コストを削減できるソリューション



管理の一元化

効率的にデバイスを管理、監視でき、どこからでもデバイスのサポートを簡単に行える単一のウィンドウ



可視性

デバイスの使用状況に関する豊富なデータを取得でき、会議の生産性をさらに高める実用的インサイトをもたらす分析



セキュリティ

妥協のない、企業データおよび従業員プライバシーの保護

出典：フロスト&サリバン

デスクトップコラボレーション用の機器がクラウド会議の成功を左右する

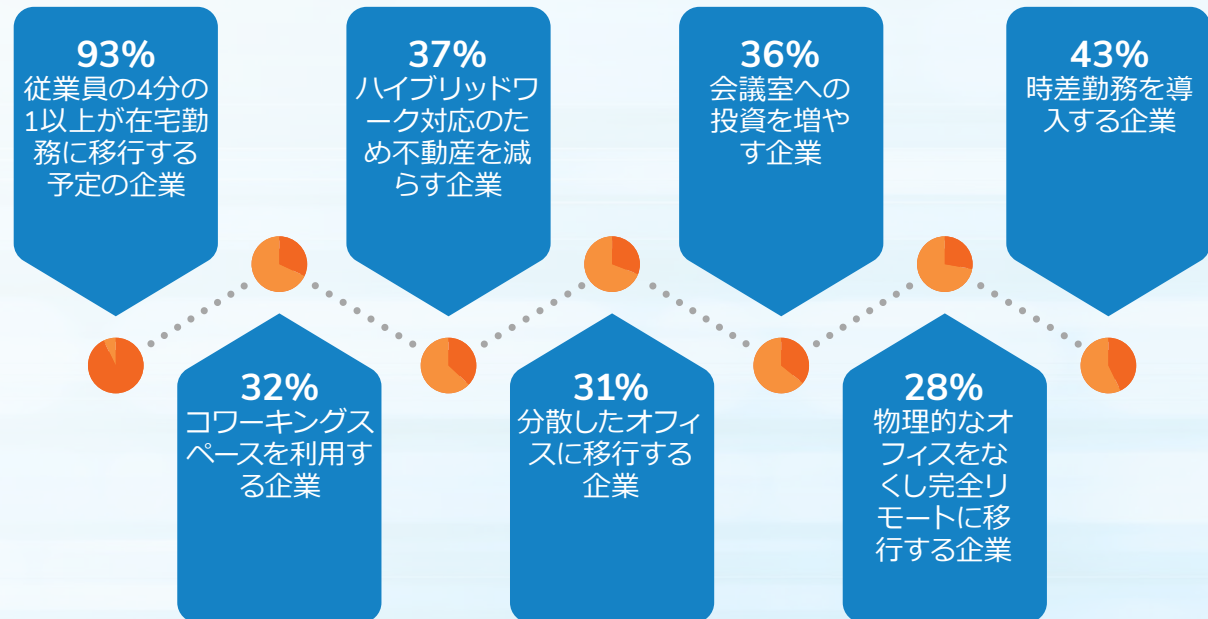
すでに最新のクラウド会議に投資している企業は、その投資をプロフェッショナルなデスクトップの音声/映像機器と組み合わせれば、対話を改善し、生産性を高め、従業員の疲労を減らせることに気が始めています。

ビジネス向けのヘッドセットとウェブカメラを使用すれば、鮮やかな映像と音声でビジネス上の対話を進められます。リモートで仕事をしてきた従業員は、この種の包括性と平等は、ただあればよいというものではなく、コラボレーション体験と生産性を高めるために不可欠なものであることを知っています。

ビジネス向けウェブカメラ、ヘッドセット、PCの周辺機器などの使いやすいパーソナル コラボレーションツールは、ユーザーの業務内容、個人的な好み、物理的な環境などにより異なるクラウドサービスの利用方法の補助を行い、使い勝手を向上させます。

パンデミック終息後の働き方ーハイブリッドワークおよびリモートワークへの移行にはパーソナルコラボレーション体験の向上が不可欠

調査に回答した企業のうち



ビデオ通話はコミュニケーション手段の実質的な主流となっており、**その使用率はパンデミック前と比べ350%以上増加しています。**IT部門の意思決定者を対象とする最近の世界的調査によれば、**クラウドへの移行後、ビデオ会議はIT部門の第2の優先課題**となっています。

リモートワークは定着しました。企業は、リモートで働く従業員がつながりを維持し、集中して仕事に取り組めるように、ユーザー体験を向上させる、準備をしなければなりません。

出典：フロスト&サリバン

卓越したコラボレーション体験をすべての人の最優先事項に

今後のビジネス会議では水準以下の音声と映像で妥協しない



パーソナルコラボレーションは現在、あらゆるスペースや役割に広がっています。

- オープンオフィスの従業員
- コールセンタースタッフ
- 在宅勤務のユーザー
- デスク常駐エグゼクティブ
- 外出の多い従業員
- 最前線の従業員
- 社内を常に移動する従業員

新しい働き方を模索する従業員は、安価な民生用の音声/映像用デスクトップデバイスを使用してしまうという罠に陥り、不満を感じてしまうことがよくあります。言うまでもなく、ビジネス向けのウェブカメラやプロフェッショナルなヘッドセットを、次世代のクラウドサービスと組み合わせることで生産性が向上します。



ビジネス用ウェブカメラの利点:

- ▶ デジタルズームを搭載した鮮明で滑らかな高精細映像
- ▶ ユーザーの位置を問わずクローズアップでもくっきりした映像を捉えるオートフォーカス
- ▶ 微光下や逆光下での自動光補正
- ▶ 不要な背景を収めない、ユーザーのフレーミングに最適な画角
- ▶ 主要なクラウド会議サービスとの連携
- ▶ カメラを使用していない時にプライバシーを保護するプライバシーシャッター
- ▶ 一元的な管理とコントロール



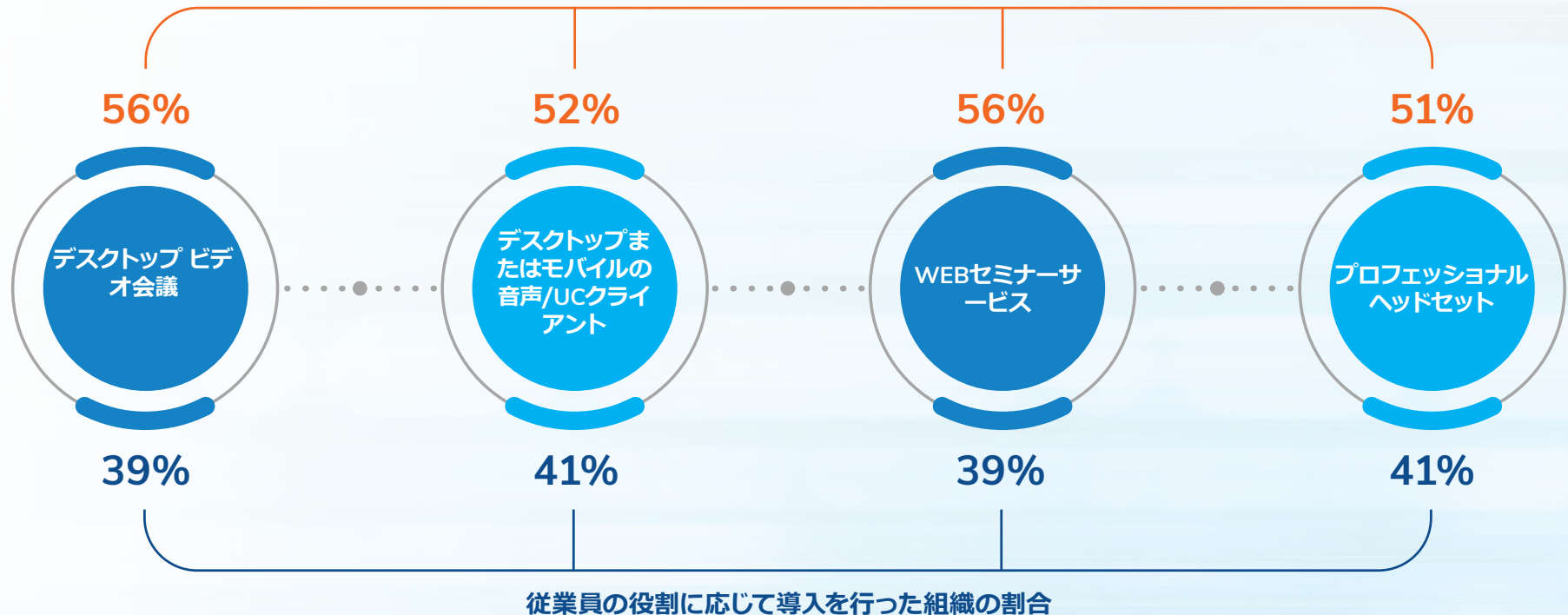
有線/ワイヤレス プロフェッショナルヘッドセットの利点:

- ▶ 周囲の邪魔なノイズを取り除くアクティブ ノイズキャンセリング (ANC)
- ▶ 話し声が自然に聞こえるデジタル信号処理
- ▶ 1日中使用できるエルゴノミクス デザイン (厚みのあるフォームや柔らかなイヤークッションなど)
- ▶ 主要なビデオ会議ソフトウェア アプリとのプラグ&プレイによる互換性
- ▶ 役割や好みに基づく個人のニーズを満たす、幅広いスタイル
- ▶ 十分な電池持続時間
- ▶ 一元的な管理とコントロール

出典: フロスト&サリバン

適切なデバイスでデスクトップユーザーをサポート

すべての従業員に導入した組織の割合



従業員が働き方を選べるようにすることが重要です。テクノロジーは、通常のワークフロー内で急な会議を行うことも予定された会議に、貢献する意識をもって、時間通りに難なく参加することもをユーザーに可能にするものでなくてはなりません。

出典：フロスト&サリバンの調査

クラウドサービスで認定されたデバイスに投資—より良い協力関係を実現

Zoom、Microsoft Teams、Google Meetを使用したビデオ通話は、質の高い対話を可能にする方法として定着しています。しかし、音声や映像の質が低ければ、生産的な対話が可能であったはずの会議もすぐに頓挫します。

今日の業界トップレベルのクラウド会議プラットフォームには、同等に堅牢なパーソナル コミュニケーション デバイスを合わせる必要があります。しかし、どんなコラボレーションデバイスでもよいというわけではありません。信頼性が高く、高性能で、管理しやすいものでなければ、従業員が会社を代表しているプロフェッショナルな人物であると示せるデバイスであるとは言えません。

認定は、ワークプレイスでの互換性とシームレスな連携を保証します。認定されたデバイスは、クラウドビデオ会議サービス プロバイダーの、パフォーマンスとサポートに関する厳格な要件を満たしています。さらに、光量の不足や周囲のノイズなど、パーソナルワークスペースの問題を特定し、クラウドサービスと連携して各ワークスペースを最適化する機能を提供するインテリジェンスを備えています。

IT部門の意思決定者は、認定済みのパーソナルコラボレーション デバイスを調達することに集中すべきです。使いやすさと管理のしやすさの点から最大限の効果をあげられるからです。

- **強化された機能**: ソフトウェアとハードウェアのシームレスな連携により、かつてないシンプルさと、AIでの自動化（人の検出や追跡、カメラのフレーミング、光や音声の調整など）を活用したビジネス上の交流によって、「より良い協力関係」がもっとも加速します。
- **管理のしやすさ**: 高性能なデバイスのコントロール、設定、監視、トラブルシューティング、ソフトウェア更新などを、ユーザーの居場所にかかわらず、IT部門で行うことができます。



出典：フロスト&サリバン

変わりつつあるワークプレイスと足並みを揃えてITサポートの進化を促す

企業は、オフィス中心の働き方から脱却してリモートワークやハイブリッドワークへの移行を進めています。既存の管理および監視用ツールでは通常、ユーザーの居場所にかかわらずサポートを提供することが十分にできません。コラボレーション用のアプリやデバイスがどこで使用されていても、**IT部門は、それらに関する詳細なインサイトの取得と管理ができなければなりません。**

次のことを実現したビジネス向けのパーソナルコラボレーション デバイスに投資することで、IT部門は自らの目的を達成し、ユーザーへのサポートを改善することができます。

- あらゆるユーザーがプラグ&プレイで直感的に設置できる
- どこからでも簡単に管理、監視できる
- ソフトウェア更新の頻度が一貫している
- 使いやすいモバイルアプリおよびデスクトップアプリが用意されている
- 優れたユーザー体験を実現するAIと自動化が採用されている
- クラウド会議サービスのパフォーマンスに対応できることが認定されている
- 堅牢なプロバイダーサポートと保証プログラム

適切なコラボレーション機器は、IT部門の課題を解決し、目標を達成するのに役立ちます

IT部門の意志決定者が考えるビデオ会議ソリューションの問題点



4人に1人

(26%) にとって
の主な課題は使
いやすさと品質



3人に1人

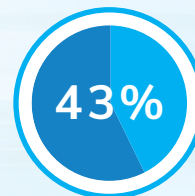
(32%) にとっての
主な課題はビデオ
会議の管理のしや
すさ



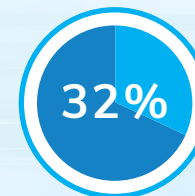
3人に1人以上

(36%) にとって
の最重要課題はビ
デオ会議のセキュ
リティ

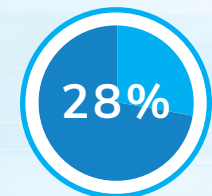
IT部門の意志決定者が掲げるビジネス目標トップ3



COVID-19パンデミック下の課題への対処



顧客体験と満足度の向上



運営効率の向上

IT部門の意志決定者は、高性能なビジネス向けパーソナルコラボレーション デバイスへの投資を優先しています。予算不足が主な課題であると回答した人はわずか18%でした。

ビジネス向けのパーソナルコラボレーション デバイスでGoogle Meetを強化

仕事の効率を高め、チームメンバー、顧客、パートナーとコラボレーションするために、現在、何百万ものビジネスパーソンがGoogle Meetを利用しています。Google Meetサービスの利用を促進し、投資効果を最大化するために、IT部門の意志決定者は、「**Works with Google Meet**」認定の厳格な審査に合格した、業界トップレベルのデバイスを採用するべきです。

クラウド会議サービスで認定されたデバイスを採用すれば、安定した信頼性と高品質の体験を実現できます。

以下を実現するビジネス向けのデバイスにより、生産性と効率性を改善し、会議による疲労を軽減し、集中力を高めましょう。

- **音声:** アクティブ ノイズキャンセレーション (ANC)、エコーキャンセレーション、ビジネス向けのマイク集音範囲、鮮明なHDオーディオ、直感的な音量調節に対応したヘッドセットで、気が散る要因を抑制します。
- **映像:** クリアなHD解像度、オートフォーカス、自動フレーミング、自動光補正により、ユーザーはプロフェッショナルで 自信に溢れた姿を通話相手に届けられます。



GOOGLE MEETは、あらゆるタイプのエンドユーザー組織から選ばれるコラボレーション テクノロジーになっています。 Google認定のウェブカメラとヘッドセットで標準化すれば、ユーザーが「より良く協力」することを可能にしながら、調達の効率化やサポートの簡素化というIT部門のニーズにも対応できます。

Google Meet認定されたデバイスで安心と安心感と 機能性の向上をもたらす

「Works with Google Meet」認定により、機能性が向上します

これらのデバイスの利点：



Google Workspaceユーザーは、Google
が支持するパフォーマンス ベンチマー
クを満たした、信頼できる認定済み製品
を使用可能



HEAD acoustics社が規定しテス
トしたGoogle Meetの品質基準を
満たす、プロフェッショナルなヘッ
ドセット



デバイスの音声と音量の同期、ならび
に映像のミュートの同期により、コラ
ボレーションデバイスから音声と映像
をコントロールできる



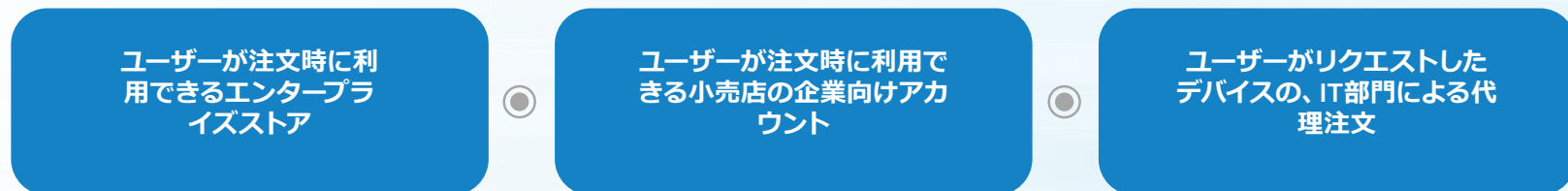
ヘッドセットとGoogle製品、両方の機
能性を保証する、Google MeetとVoice
の補完機能

単一のデバイスプロバイダーの認定済み製品を複数、選択肢として標準化

フォームファクター、エルゴノミクス、仕事環境、業務内容、個人の好み、これらはすべて、最適なパーソナルコラボレーション デバイスの選択に関わってきます。そのためユーザーは、パーソナルコラボレーションにおける自らのニーズに最も適した製品を選択する必要があります。

IT部門の意志決定者は、**慎重に検討して「Google Meetとの連携」が認定された製品を複数採用し、その中から従業員が製品を選べる**ようにするべきです。

標準化した複数の製品を選択肢としてユーザーに提供するには、いくつかの方法があります。
最も重要なことは、**自分に最も適したデバイスを見つけてリクエストできるプロセスを、ユーザーに用意すること**です。



パーソナルコラボレーション デバイスを選択する際の考慮事項

ユーザータイプ	仕事環境	デバイスの特徴
通話量が多い	自宅、オフィス	有線またはワイヤレスのステレオヘッドセット、HDオーディオ、ANC、十分な電池持続時間、HDビデオカメラ（オートフォーカス、光補正機能搭載）
移動が多い	出先（客先、電車、空港、ホテル）	ワイヤレス ステレオヘッドセット、HDオーディオ、ANC、マルチデバイス接続、十分な電池持続時間
常駐している	オープンオフィス、キュービクル、自宅のワークスペース	有線またはワイヤレスのステレオヘッドセット、HDオーディオ、ANC、HDビデオカメラ（オートフォーカス、光補正機能搭載）

出典：フロスト&サリバ

ソリューションのポイントーロジクール パーソナルコラボレーション デバイスはGoogle Meetで認定済み

IT部門の意思決定者は、**パーソナルコラボレーション デバイスを標準化**する際に**単一プロバイダーのビジネス向け製品を複数採用**することで、サポートの能力およびプロセスの強化、ならびにGoogle Meetソリューションの使用状況およびパフォーマンスの改善を実現できます。

オーディオ/ビデオ デバイスおよびソフトウェアからなるロジコールの包括的なポートフォリオは、Google Meetで認定されており開梱後すぐに連携することができます。今日のハイブリッドワークに業界トップレベルのコラボレーション体験をもたらします。これらのソリューションには以下の製品が含まれます。



C925eビジネスウェブカメラ

USBプラグ&プレイ、最大1080p解像度 (30fps)、オートフォーカス、デジタルズーム、78°の画角、H.264 SVC対応、無指向性マイク (集音範囲1m)、プライバシーシャッター、Windows、Chrome、Mac、Rightlight AI自動光補正



Zone True Wireless Earbuds

目立たないステレオインイヤードッキング式、Bluetooth、ノイズキャンセリングマイク、ANC、マルチデバイス接続、Mac、iOS、Windows、Android



Zone Wired Earbuds

目立たないステレオインイヤードッキング式、ノイズキャンセリングマイク、ANC、マルチデバイス接続、Mac、iOS、Windows、Android、USBおよび3.5mm接続、インラインコントローラ



Zone Wiredヘッドセット

ステレオ オンイヤードッキング式、USB接続、Windows、Mac、Chrome、無指向性マイクと単一指向性マイク、ANC、1日中快適



Zone Wirelessヘッドセット

ステレオ オンイヤードッキング式、ANC、Bluetooth、マルチデバイス接続、Windows、Mac、Chrome、iOS、Android、ワイヤレスおよびUSB充電、30mのワイヤレス通信範囲、14時間以上の通話およびリスニング時間

出典：フロスト&サリバン

組織に最適な選択を

IT部門の意思決定者は、従業員がどこにいるかにかかわらず、ユーザー基盤を適切にサポートするフレームワークを構築することで、組織のデジタルトランスフォーメーションを推進できます。

自社のコラボレーションニーズに合わせてGoogle Meetを標準化した企業は、まず、Google Meetで認定された適切なパーソナル デスクトップコラボレーション デバイスを選択しましょう。

「WORKS WITH GOOGLE MEET」認定のコラボレーションデバイスで標準化すれば、以下のメリットを得られます。

シンプルな導入

- 開梱後すぐにGoogle Meetのクラウドネイティブ機能を使用可能なロジクール デバイスによる、素早い導入
- コスト効率に優れたソリューションで職場全体にテクノロジーを拡張可能
- シンプルな調達から十分なベンダーサポートに至るまで、製品の所有価値が向上

シンプルな操作感

- 信頼できる高品質な音声と映像によるユーザー体験
- 使いやすく魅力的なユーザー体験が時間を節約し、まるで直接対面しているかのように自然なGoogle Meetによるビデオ会議を実現
- 簡単にデバイス設定にアクセスし、変更ができる直感的なデスクトップおよびモバイルのユーザーインターフェース
- コラボレーションの価値を高める、簡単なコンテンツ共有

シンプルな管理

- ウェブカメラやヘッドセットをウェブベースのGoogle Workspace管理コンソールから簡単に監視、管理できる
- ユーザーの研修やヘルプデスク チケットが減少
- 効率的なウェブベースのユーティリティによるシンプルな管理機能
- 既定の会社方針に従う一貫性のあるセキュリティ機能

今すぐぜひ、Google Meetへの投資強化に関する詳細はこちらをクリックしてください。

出典：フロスト&サリバン



SILICON VALLEY

3211 Scott Blvd
Santa Clara, CA 95054
電話 +1 650.475.4500

SAN ANTONIO

7550 West Interstate 10
Suite 400
San Antonio, TX 78229
電話 +1 210.348.1000

LONDON

566 Chiswick High Road
London W4 5YF
電話 +44 (0)20 8996 8500

成長とは、旅のようなものです。私たちがそのガイドを務めます。

フロスト&サリバンは、60年以上にわたり、企業、政府機関、投資家に実用的なインサイトを提供し、革新的な成長機会を次々にもたらしてきました。これにより当社のお客様は、経済性を最大化し、新たなメガトレンドに乗り、持続可能な成長を基盤として未来を形作っています。

お問い合わせ: ディスカッションを開始